

## 普及現地情報



発信年月日：令和5年(2023年)8月10日

所属名：湖東農産普及課

番号：F23012

部門分類：150 野菜

発信者名：宇野

### イチゴ新品種‘みおしずく’ 令和6年度に向けて推進中！

8月3日、JA 東びわこイチゴ部会研修会で、令和4年度イチゴ新品種‘みおしずく’の実証結果と今年度の育苗状況について情報提供するとともに令和6年度の生産拡大について呼び掛けました。

今年度、湖東地域では1法人と9農業者がみおしずくを栽培し、現在は9月に定植する苗の増殖に取り組んでいます。当課は普及指導計画に基づき月に2回程度各施設を訪問し、採苗数の調査と必要な技術支援を行っています。

研修会では、令和4年度に県内8か所で実施された実証栽培ほ場の生育や収量結果を報告し、実証ほ農業者を対象に実施したアンケート結果から収量・品質、市場出荷の課題についても報告しました。

また、湖東管内で取り組まれている育苗の進捗状況を情報提供しました。6月に県全体で実施された出荷量調査では、目標出荷量に対し出荷見込み量が少ない結果が出たことから、有利な販売をするためには目標出荷量を確保することが重要なことを説明しました。

さらに、令和6年産栽培者の募集を控えて、「どんな特徴があるのかわからない」「‘章姫’に匹敵する評価が得られるのか」等の不安を払拭するため『お試し栽培してみませんか』、部会組織を活かして『みんなで取り組みましょう』と呼び掛けました。

今後も、当課は、‘みおしずく’の安定生産と生産拡大に向け、引き続き支援していきます。



R6 みおしずくの栽培を呼び掛ける普及指導員



R5 みおしずく栽培者の施設では採苗が進む